

医療の質可視化プロジェクトについて

医療の質可視化プロジェクトは、厚生労働省補助事業として日本医療機能評価機構が実施している「我が国の全病院を対象とした指標を活用し、医療の質を可視化するプロジェクト」です。

【目的】

「医療安全」「感染管理」「ケア」に関連した以下の指標を計測・可視化することで、医療の質向上を目指す取り組みです。

【計測する指標】

医療安全

MSM-01 入院患者の転倒・転落発生率

MSM-02 入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル 3b 以上の発生率

MSM-03 リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

感染管理

MSM-04 血液培養 2 セット実施率

MSM-05 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

MSM-06 手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

ケア

MSM-07 d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

MSM-08 65 歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合

MSM-09 身体抑制率

当院も、2022 年度より本プロジェクトに参加しており、結果は以下の通りです。

（「中央値」とは、病床数が 600 床以上の病院の中央値を指します。）